

第 38 回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要

いつも参加いただく、高校生、大学生や市民の方の多くが別の行事等で不参加となり人数が集まるか不安でしたが、呉市や竹原市のボランティアグループにも参加いただき、酒造協会も久々に 3 社が参加と多少少ないながら山仕事の経験者が多くご参加いただきました。この度は、東広島市森づくり事業の補助金を活用して小型のチップーシュレッダーを購入でき、そのお披露目と、竹を使ったチップーのデモンストレーションを行いました。機械やチップーに対する質問も多く出て、皆さんの関心の高さが感じられました。このチップーシュレッダーのおかげで、材のチップ化の作業効率が 1.5 倍以上となり、いつもは、やり残しが出るのに、時間内に全てチップーにすることが出来ました。除伐作業は、機械部隊（刈払い機）と手作業班の場所を分けて、順に作業を行い、これまで以上に効率よく作業ができました。時間の無駄のないいい作業だったと参加者からもお褒めもいただきました。また作業とはべつに前回焼いた炭を窯から取り出しました。夏季の「水のグラウンドワーク」に活用予定です。
2. 日 時 2009 年 3 月 15 日（日）10：00～14：30
3. 場 所 東広島市憩いの森公園（龍王山）炭焼き広場周辺
4. 参加者 53 人
5. 作業内容 チップーシュレッダーお披露目（デモンストレーション）
雑木林の除伐、ウッドチップ・マキづくり、炭の窯だし
6. 天候 晴れ
7. プログラム

18 日	グラウンドワーク
9：00	スタッフ集合・準備
9：30	受付（オートキャンプ場芝生広場）
10：00	開会式（炭焼き広場）
10：10	チップーシュレッダーお披露目・デモンストレーション
10：30	グラウンドワーク（除伐、チップーづくり、炭の窯だし）
12：00	休憩
13：00	グラウンドワーク（除伐、チップーづくり、薪づくり）
14：15	閉会式
14：30	参加者解散、スタッフ片付け
8. 役割り分担

・総括責任者	前垣壽男	（西条・山と水の環境機構）
・指導責任者	高下義彦	（賀茂地方森林組合）
・作業指導	近藤俊明	（広島大学大学院 助教）
・シュレッダー指導	藤川信也	（フジ・エコテック）
・シュレッダー担当	石井一行	（西条酒造協会・賀茂泉酒造）
・炭焼き	惣郷公三	（西条・山と水の環境機構）
・進行責任者	畝崎辰登	（西条・山と水の環境機構事務局）
・進行担当	船本昌義	（西条・山と水の環境機構事務局）
・看護	古本世志美	（井野口病院看護部長）
・受付	船本昌義	（西条酒造協会事務局）

9. 実施体制

事業主体／西条・山と水の環境機構、広島大学

協力／東広島市、賀茂地方森林組合、井野口病院、財団法人東光会

10. 作業量

除伐面積：約2,000㎡

チップ化体積：約12m³（約2400kg）

11. 活動風景



新規導入した、小型チップーシュレッダー



フジ・エコテック藤川氏によるチップーの説明



竹もチップにできるので、竹を持ち込んでデモンストレーションを行いました。参加者数人が、竹のチップ化を体験しました



賀茂地方森林組合 高下さん（指導責任者）より作業の手順と、安全確認のオリエンテーションの後、午前中の除伐作業を開始



山から下ろした、除伐材は、シュレッダーを使い、ウッドチップにする



炭焼き担当の惣郷さん、午前の作業は、前回焼いた炭の窯だし作業（灰が舞い上がる現場）



午前中、刈払い機で除伐した材や下草を、参加者総動員で、山から下ろします



2台のチップーシュレッダーがフル稼働してチップに、太い材は薪になります。



作業の結果、約 2400 k g のチップができました。



お礼のあいさつをする統括責任者の前垣さん